国語科コンテンツ実践事例

コンテンツNo.	
校種	小学校
学 年	全学年
教 科	国語科
単元名・教材名	習った漢字をしっかりと覚えよう!
指導目標	学年に配当された漢字を身につけ、必要に応じて適切に使うことがで
	きる。
指導計画	新出漢字を学習した後、教室に掲示する。
授業の流れ	添付データに □あり ■なし
	①新出漢字を学習する。
	②練習し終わったらコンテンツを教室に掲示する。
	③必要に応じて既習の漢字を振り返らせる。
	④漢字テストの際などには裏面を向けておく。
授業のポイント	新出漢字を学習後教室掲示とし、必要に応じて学年配当の漢字や既
	習の漢字を振り返り確認する。児童の「習っていない。」などという
	言葉に対しても、学年の配当漢字については既習であることが確認で
	きる。
	常に教室掲示にしておくことで、児童の目に触れる時間を増やし、
	力の定着を図っていく。また、児童らがどれだけの漢字を学習したの
	かを視覚で捕らえることができるので、学ぶ意欲を高めていくことに
	もつながっていく。
	漢字テストなどをおこなう際には、印刷面を裏返しにすることでテ
	スト中には見えないようにする必要がある。
授業場所	■普通教室 □コンピュータ教室 □特別教室 □体育館 □運動場
	□屋外 □その他〔〕
授業形態	□一斉学習 □グループ学習 □個別学習 □補習 ■その他〔掲示〕
ICTを活用する場面	□導入 □展開 ■まとめ □その他〔発展〕
ICTを主に活用する者	■教員 ■学習者 □その他〔 〕
ICTを活用する目的	□課題の提示 □動機付け □教員の説明資料 □学習者の説明資料
	□繰り返しによる定着 □モデルの提示 □失敗例の提示
	□体験の想起 □比較 ■振り返り □体験の代行
	□その他〔〕
活用するICT	■コンピュータ □プロジェクタ □スクリーン
	□電子ホワイトボード □実物投影機 □デジタルカメラ □ビデオ
	□インターネット □デジタルコンテンツ □CD-ROM
	□スピーカー ■その他〔プリンタ〕
その他の添付データ	□あり〔 〕■なし